

第1号

春闘ニュース



成人の日の1月11日、神奈川労連「8時間働けばふつうにくらせる社会と全国一律最低賃金制度の実現」を掲げ宣伝行動。横浜市の成人式が執り行われる新横浜駅に24人が集まり、10時から約2時間、新成人に向けて「最賃1500円」と「全国一律最賃制度実現」に向けて一緒に声をあげようと呼びかけました。

神奈川労連 安部栄子副議長は、新成人に向け最低賃金には地域間格差があることを強調。「全国どこでも一時間1500円の最低賃金を実現しよう」と呼びかけました。

宣伝行動では参加者がかわるがわるマイクをとり、「成人おめでとうございます。皆さんもうすでに働いている方も、学生でアルバイトしている方も、「最低賃金」って知っていますか？アルバイトでも正社員でも、この金額（時給額）以下で働かせてはいけないと決められている制度です」「神奈川県最低賃金は現在「1012円」です。皆さんの時給はいくらですか？」

と呼びかけました。合わせて「最低賃金の引き上げは、みんなの給料をアップさせるだけでなく、国内の経済を活性化させて、景気を回復させる効果もあります。

中小企業への支援とセットで、最低賃金を1500円以上に引き上げ、地域格差もなくして全国一律で賃金の底上げをしていきましょう。そのためには、まずは自分の給料をチェックしてみましょう。そして一緒に大きな世論を作っていきましょう」と呼びかけました。チラシを受け取った新成人からは、「時給1500円だって。なったらいいな」「がんばってください」と声をかけられました。当日の実行委員長である柏木哲哉さん（県医労連書記長）は、「自粛ムードだが新成人の反応が良く、やってよかった。

今後も最賃引き上げと全国一律最賃制度の実現にむけて頑張りたい」と決意を語りました。

